

2018年8月8日

日本たばこ産業株式会社

プルーム・テックに関する情報提供②

目次

-
- 加熱式たばこ使用時の粉じん濃度調査
-
-

加熱式たばこ使用時の粉じん濃度調査

調査実施者	日本たばこ産業株式会社
調査銘柄	○ 紙巻たばこ ▶ 当社代表銘柄（タール6 mg） ○ プルーム・テック ▶ メビウス・レギュラー・フォー・プルーム・テック ○ 加熱式たばこ混合 ▶ 他社A（70%）、他社B（20%）、プルーム・テック（10%）の割合で使用
調査方法	飲食店を想定した喫煙エリアおよび非喫煙エリアにおける室内管理基準成分調査（粉じん）
調査条件	<環境> 客席面積36㎡（喫煙エリア18㎡・非喫煙エリア18㎡）の飲食店において、喫煙席で紙巻たばこまたは加熱式たばこを15分間使用した際の、喫煙エリアおよび非喫煙エリアの室内管理基準成分（粉じん）を調査しました。境界部の仕切り方を壁（一部開口：開口面積2㎡）とし、喫煙エリアの換気条件を、排気は機械排気（500 m³/h）、給気は非喫煙エリアからの自然給気としました。（境界風速0.07m/s） <測定対象成分> 粉じん（測定はLD3-K2デジタル粉塵計（光散乱測定法）を使用）を調査しました。



- ◎ プルーム・テック専用のたばこカプセルはたばこ製品です。たばこ製品の使用には健康へのリスクが伴います。
- ◎ 本資料は、プルーム・テックの使用に伴う健康上のリスクが他のたばこ製品と比べて小さいことを説明するものではありません。

加熱式たばこ使用時の粉じん濃度調査

【想定条件】

設定条件	飲食店 (業態：カフェ)	備考
滞在人数 [人/㎡]	1.38	1人当たり0.72㎡として計算（飲食店） ※受動喫煙防止対策助成金の今後のあり方に関する検討会報告書（H28）
喫煙者率 [%]	36.4	2017年度の喫煙者率（18.2%）より （喫煙席の席数割合を5割とし、喫煙率を2倍で計算）
稼働率 [%]	100	過酷な条件を設定
喫煙本数 [本/h・人]	3.8	カフェの喫煙本数を参照（（株）クロスマーケティング調べ（2016））

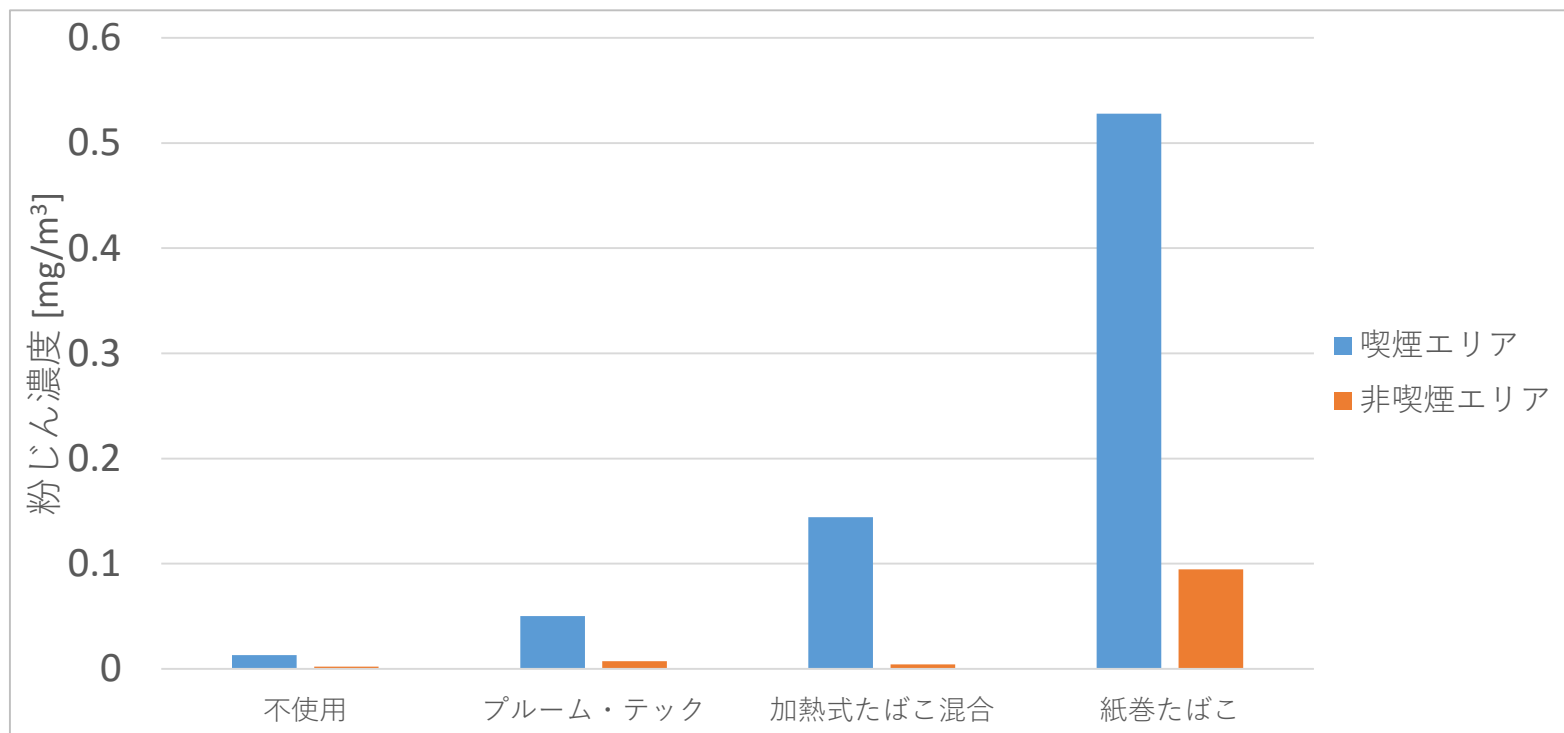
【試験条件】

	飲食店 (業態：カフェ)	備考
喫煙エリア面積 [㎡]	18	
総滞在人数（計算値） [人]	24.8	面積[㎡]×滞在人数[人/㎡]×稼働率[%]
喫煙者滞在人数（計算値） [人]	9.0	滞在総人数（計算値）[人]×喫煙者率[%]
滞在人数（試験時） [人]	5	パネル人数の兼ね合いから必要人数を1/2にして切り上げ
喫煙本数 [本/h・人]	8	滞在人数（試験時）から喫煙本数（3.8本）を2倍にして切り上げ
吸引回数 [パフ/h・人]	112	加熱式たばこは14パフ/本として設定。紙巻たばこについては1本あたりの吸引回数は自由。
総喫煙本数 [本/h]	40	喫煙本数（8本）×試験時の滞在人数（5人）
1人当たりの換気量 [m³/h]	20	
総換気量 [m³/h]	500	総滞在人数（計算値）×一人当たりの換気量 [m³/h]

- ◎ プルーム・テック専用のたばこカプセルはたばこ製品です。たばこ製品の使用には健康へのリスクが伴います。
- ◎ 本資料は、プルーム・テックの使用に伴う健康上のリスクが他のたばこ製品と比べて小さいことを説明するものではありません。

加熱式たばこ使用時の粉じん濃度調査

- 加熱式たばこ専用室の技術的要件の検討に際しては、加熱式たばこのエビデンスに基づいた検討が必要
 - 喫煙エリアの粉じん濃度は、加熱式たばこ使用時と、紙巻たばこ喫煙時で大きく異なります
 - 非喫煙エリアの粉じん濃度は、加熱式たばこを使用しても、不使用時とほとんど変わりません
- 境界風速だけの視点では、事業者に過度な投資を強いる可能性があるため、非喫煙エリア（喫煙エリア周辺）における粉じん濃度の上昇有無を考慮すべき



- ◎ プルーム・テック専用のたばこカプセルはたばこ製品です。たばこ製品の使用には健康へのリスクが伴います。
- ◎ 本資料は、プルーム・テックの使用に伴う健康上のリスクが他のたばこ製品と比べて小さいことを説明するものではありません。

今後に向けて：加熱式たばこの技術的要件の検討

- 加熱式たばこ専用室の基準を議論する場合は、加熱式たばこの科学的エビデンスに基づいて議論されることが必要です。
- 受動喫煙による健康影響が明らかでない加熱式たばこ専用室について、事業者に過度な設備投資を求めるべきではなく、紙巻との違いを考慮した合理的な基準であるべきです。
- 加熱式たばこ使用時に、非喫煙エリアと喫煙エリアの境界部において、粉じん濃度が上昇するか否かを考慮すべきです。
- 具体的には加熱式たばこの技術的要件については、個室（扉・排気設備有）であれば問題ないと考えます。
- 私たちは、加熱式たばこに関するデータを様々保有しており、また必要な調査に関しては、今後も積極的に協力をさせていただきます。